



第105号 2012年5月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

主な内容

聞きかじり歴史散歩⑤「長州人の絆」	P4
ズームアップ 倉重光宏（宇部市）	P6
夢追人 吉賀 暁（萩市）	P7
萩の元気企業探訪 長沢台生産組合「長萩和牛」	P8
懐かしい店 やきとり五味鳥（萩市）	P9

GWの喧騒が去り、萩の町がもとの静かな落ち着きを取り戻す頃、まちじゅうが夏みかんの花の甘い香りに包まれ、一年で最も過ごしやすく、萩に住んでいることの幸せを感じる季節となります。

昭和天皇が皇太子の時、大正15年5月に萩に行啓した際、「この町には香水がまいてあるのか」と県知事に下問されたと言いつたわれています。夏みかんの実は、樹上で熟し酸味が抜けて今が一番の食べ頃となります。

萩らしい初夏の香り



初代長崎造船局長、 松下村塾生として 最も長生きした 渡辺蒿蔵の旧宅を公開



1843~1939年
(天保14~昭和14)

松下村塾の塾生で、初代長崎造船局長として日本の造船の発展に貢献した渡辺蒿蔵の旧宅（江向）の整備が3月に完了し、4月から一般公開（無料）が始まりました。

渡辺蒿蔵は、松下村塾で学んだ後、藩令により米英に留学し造船学を学びました。帰国後は工部省に入り長崎に赴任します。長崎では造船事業の近代化につとめ、東洋一とうたわれた立神第一ドックや日本最大の木造船小菅丸を完成させ、官督長崎造船局（現在の三菱重工長崎造船所）

の初代局長に就任するなど長らく日本の造船界等の発展に貢献した人物です。

49歳で退職し萩に帰郷後、村塾生として97歳までと最も長生きし、松下村塾の保存事業に尽力しました。

萩市では、平成16年にご子孫の渡辺寛さん（浦安市在住）から建物と土地の一部の寄付（土地の一部は購入）を受け、平成21年度から、屋根や建物の構造体の補修、日本庭園の整備のほか、トイレや駐輪場などの整備も行いました。整備事業費は約1億円、国と萩市が各1/2を負担。

旧宅内では、長崎造船所時代の写真などを展示し、萩まちじゅう博物館江向案内所として活用します。

■問い合わせ 萩市まちじゅう博物館推進課（0838・22・6450）



橋本川河畔の旧宅の敷地内には、明治中期に建てられた主屋、茶室、土蔵が立ち並び、江向八丁筋に面して、江戸時代の遺構とみられる長屋門があります。



「明治12年(1879)に完成した立神第一ドック」ドックの長さは130mで、当時は東洋最大

スマホで 観光案内

萩市観光サイトで 「萩データベース」を公開！



萩市では、萩に関する観光写真や観光ガイド、偉人の情報や昔話などを、パソコンやスマートフォン（高機能携帯電話）、タブレット端末などで見ることができるよう「萩データベース」の公開を4月から開始しました。

観光客は

例えば「萩観光写真」の歴史方テグロリから松下村塾の写真を選ぶ

と、場所が地図で表示されます。「萩観光ガイド」のマップでは、地図上に表示された観光スポットの解説を読むことや聞くことができ、スマートフォンでは現在位置からのルート検索もできます。

萩出身の方は

城下町や萩城跡などの景観写真のほか、萩の伝統工芸や食文化、祭りなどのイベント、各種施設など約5000点の写真がダウンロードでき、活用することができます。

また、吉田松陰や高杉晋作などの維新の志士はもちろん、政治・軍事・教育・文化・産業・経済などの各分野で活躍した萩出身の偉人103人の人物データを紹介します。

閲覧方法

「萩データベース」で検索、または萩市観光ポータルサイトから接続

萩データベースで公開している内容

萩観光写真	城下町・萩城跡や食など約500点の写真 ※ダウンロードできます。
萩観光ガイド	城下町・松下村塾・地域エリアごとの地図に観光スポットを表示し、施設の詳しい情報や、現在地からの道順を表示
萩の人物	萩の偉人など103人のプロフィール
萩の動画	萩市を紹介した動画や、萩の歴史や文化の講演・講義（20話）
HagiStory	萩のまちに昔から伝わる物語（28話）
萩のマップ	散策コースやおすすスポットなど地図約60種類



萩市観光ポータルサイト
右の「萩データベース」をクリック！

萩は、若い力を必要としています！

春は別れと出会いと新しい出発の季節。卒業式そして続く入学式、入社式。新入生は桜の花の下を通り入学式に臨んだものだが、最近では地球温暖化の影響からか桜は3月中旬に咲き終える傾向にあった。

しかし本年は4月9日の中学校の入学式にソメイヨシノは満開。近年にない珍しいことだ。弥生の青空の下に春爛漫、桜花爛漫、百花繚乱、文字通り春たけなわの中での入学式。振り返ると本年は梅も2週間余り開花が遅れたものの、笠屋の梅林園の梅も見事に咲き揃いハクモク

レン、レンギョウと続いた。

このような花々の咲き誇る故郷萩を出立して行く。バスセンターや新幹線口で家族との別れのシーンが展開される。進学や就職のために高校卒業生の約9割が萩の地を離れる。学業を終え、職業経験をもって一人でも多くの若者に帰省して欲しい。萩は今、若い力を必要としている。

萩市長 野村興兒

▽市長コラムは、萩市ホームページ▽市長室▽市長コラムに毎月1回(15日)更新されます。

萩市は企業誘致に積極的に取り組めます！

地方経済が低迷する中、萩市では、新たな起業や地場事業の振興が課題となっています。萩で働き、暮らしたくても就職機会が少ないため、若者が萩の地を離れざるを得ず、人口減少による過疎化は深刻さを増しています。

こうした状況下において、小郡・萩地域高規格道路(美東一絵堂)および山陰道(三隅一楯)の開通により萩市へのアクセスが改善され、一方、企業においては、自然災害対策としてのり

スク配分から工場等の再配置の動きもみられます。

萩市においても、今年4月に「経済再生・企業誘致推進課」を新設し、改めて企業誘致を進めています。様々な分野での情報を必要としています。萩市とゆかりのある経営者の方、事業所の移転を検討している企業などの情報をお寄せいただきますようお願いいたします。

連絡先

萩市経済再生・企業誘致推進課
(0838-253811)

萩往還が大注目！

おいでませ！

山口市観光交流キャンペーン

山口県や県内の各市町、観光関係者などをつくる「おいでませ山口観光キャンペーン推進協議会」では、年間観光客3000万人を目指し、「おいでませ山口観光交流キャンペーン」を3月にスタートさせ、8月末まで続きます。このキャンペーンのひとつの「デイスカパー！長州博」では、歴史浪漫街道「萩往還」にスポットが当てられています。

◎キャンペーン限定

語り部ガイドウォークツアー

藩主が参勤交代の時に通った「御成道」であり、志士たちが駆け抜けていった街道「萩往還」。史跡などが数多く残る萩往還を志



3月24日、「萩往還ワンデーウォーク2012」が開催され約1300人が参加



萩往還が表紙のパンフレット

士たちの足跡を辿りながら、語り部と一緒に歩いて、歴史浪漫に浸ってみませんか。

キャンペーン期間中はワンコイン(500円)で参加できるほか、通行鑑札のプレゼントやお得な宿泊プランなどの特典があります。

■とき 9月30日(日)までの土・日曜日、祝日等 午後1時～(7月からは午前9時30分)

■ところ 4コース

- ・さわやか萩往還実感コース▽涙松跡(明木市(萩市)約4.3km)
- ・一升谷の石畳コース▽佐々並市(明木市(萩市)約9km)
- ・一の坂四十二の曲がりコース▽天花坂口(山口市)▽国境の碑(萩市)約3km
- ・三田尻御茶屋コース▽防府天満宮(三田尻御舟倉跡(防府市)約2.5km)

各コース1日あたり30人まで(10日前までに申し込み)

■参加料 1人500円

■申し込み

山口観光コンベンション協会内やまぐち萩往還語り部の会
083-920-3323 (平日午前9時～午後5時30分)

萩往還夏木原交流施設がリニューアルオープン！

山口県から譲渡を受けた旧21世紀の森・夏木原キャンプ場施設を改修し、4月27日、交流施設としてリニューアルオープンしました。

この施設は、萩城下の唐樋札場から三田尻(防府市)の港をほぼ直線で結ぶ街道「萩往還」約53kmのほぼ中央に位置しています。

健康志向の高まりや、街道ウォークの愛好者も増えている中、歴史街道「萩往還」を歩く皆さんが休憩や交流することが出来ます。

【開館時間】 午前9時～午後5時
【施設内容】 ▽ロッジ 無料休憩所、宿泊室(48人、有料)、シャワー室(有料) ▽テントサイト(有料) ▽屋外公衆トイレ▽炊飯棟

■問い合わせ 萩市観光課(0838-253139)



宿泊室(中央)と無料休憩所(奥側)

長州人の絆

萩に住んで、「幕末維新」がごく身近に感じられるようになったのには驚いています。書籍や知友の話などに散見される小さな史実には、時代を物語る多くの事柄があります。

中でも維新前後に活躍した人たちの姻戚関係を垣間見るにつけ、そこには時代を共に生きた彼らの親交の深さや絆、家門の繁栄といったさまざまな思いが表現されていて、興味深いものがあります。



木戸 孝允
(桂小五郎)維新の三傑

西郷隆盛、大久保利通と並ぶ「維新の三傑」の一人木戸孝允(1833~77)は、新政府の基礎を固め参議、内閣顧問などの要職にあつて日本の近代化を主導し

ましたが、45歳の若さで病に倒れます。没後木戸家は、孝允の盟友で実妹ハルの夫でもあつた来原良蔵(1829~62)の次男正二郎を養子に迎えました。しかし、7年後に正二郎が亡くなったため、木戸家は孝允の長女好子の婿に亡くなった正二郎の実兄で良蔵の長男孝正を迎えます。来原良蔵のことは余り語られませんが、吉田松陰の東北行や下田踏海を支援し、長井雅楽の公武合休論を支持して活動し、長井雅楽が失脚すると、自らも江戸藩邸で割腹して果てた男気の武士なのです。

ところで、木戸家では、今度は長女好子が明治20年に亡くなりました。それで孝正は後妻に伊藤博文らと英国に密航留学したいいわゆる長州ファイブの一人山尾庸三(1837~1919)の長女寿栄子を迎えました。木戸孝正は、その後東宮侍従長や宮中顧問官を勤めました。

孝正の長男木戸幸一(1889~1977)は、農商務官僚とし

て出仕、近衛文麿との親交が縁で文部や厚生大臣を務め、やがて内大臣として活躍、昭和天皇の側近として宮中政治に関与して昭和の時代をリードしました。木戸幸一は(来原)孝正と(山尾)寿栄子の長男ということになります。そして木戸幸一自身は、陸軍大将児玉源太郎(1852~1906)の四女ツルを娶っています。

児玉源太郎は、徳山藩士で維新政府では陸軍に入り、伊藤内閣、桂内閣で陸軍大臣を務めました。日露戦争前後、内外の情勢から主戦論の立場で寺内陸相とともに時の桂首相に戦争準備の着手を決断させたことは知られています。開戦後は、満州軍総参謀長として精励したほか、広い視野で日露戦争後のあり方とりわけ満州経営の展望を示しましたが、志半ば55歳で急逝しました。

児玉源太郎の長男秀雄(1876~1947)は通信、国務、文部など各大臣を務め、夫人は総理大臣を務めた寺内正毅(1852~1919)の長女サワです。児玉の四男常雄の夫人は木戸幸一の実妹八重子です。

広澤真貞(1834~71)は、幕末国事に奔走、王政復古に功があり、木戸孝允と並ぶ実力者として新政府では参議として活躍しましたが、志半ばの39歳のとき刺客

に暗殺されました。広澤の三男金次郎の夫人は、山尾庸三の次女千代で、千代が明治37年に亡くなったため、五女の亀子が後妻に入っています。そして金次郎夫妻の孫真信の夫人は藩主毛利家の毛利元道の娘妙子です。整理しますと、山尾の長女は木戸家に、次女と五女は広澤家に嫁したことになります。



伊藤 博文
初代内閣総理大臣

は、小倉藩士ですが、その才能と人格から高橋是清、山県有朋、伊藤博文らの知遇を得て大成した人で、とりわけ伊藤博文の信頼は厚く、結果長女の婿になって長州人脈につながりました。後年、明治維新史の重要資料となった『防長回天史』の編纂主査を任されています。

伊藤博文の盟友井上馨の長女千代子に桂太郎の次男三郎が婿入りしています。桂太郎の夫人は井上馨の養女可那子で両家の親密さが伝わってきます。

井上馨は、維新後、条約改正のため欧化政策を推進し、鹿鳴館時代を現出しました。初代外務大臣で、その後も農商務、大蔵大臣を務めました。

桂取素彦(1829~1912)は初代群馬県令や貴族院議員、宮中顧問官を勤めました。群馬県令のとき地域の発展に尽くしたことから、今でも群馬県から萩市に顕彰・観光団が訪れます。楫取の夫人は、杉百介之助の二女久子、久子がなくなった後三女の美和子が嫁しました。ともに維新回天を主導した吉田松陰(1830~59)の実妹です。

長州ファイブの一人で鉄道の父といわれた井上勝(1843~1910)は、三女辰子を薩摩藩

出身で二度総理を務めた重鎮松方正義の九男義輔に嫁がせています。

激動の時代を同じ方向に向って全力疾走し、生き抜きまたは斃れた同郷の人々の絆は、苦難と喜びを共有しただけに、血縁以上の深さと重みを共感させたのだと思われま



山田 顕義
初代司法大臣、日大の学祖

また視点の違う婚姻も見られま

山田顕義(1844~92)は、幕末、戊辰戦争や箱館鎮戦などで活躍し、明治12年参議となり、さらに司法卿などを歴任し、明治18年伊藤博文が内閣制度を発足させて初代総理大臣として組閣すると、司法大臣に就任しました。また彼は、法治国家を目指して日本大学を創設しました。

山田顕義が没すると、家族は、顕義の実弟繁栄の長男久雄を養子にしました。しかし、久雄が4年後、24歳で早世したため、久雄の父で顕義の実弟繁栄を養嗣子にしました。繁栄も9年後の明治39年、59歳で死去したため、山田家は、

顕義の長女ムメ(梅)と旧会津藩主松平容保(1835~93)の三男英夫を選定家督相続人に迎えました。

戊辰戦争の記憶もまだ生々しい明治40年に長州人と会津人の婚姻が成立したわけで、それ自体画期的な出来事でした。この婚姻がどういう経緯で成ったのか興味深いものがあります。説は二つあって、会津藩の家老職で維新後は軍人、貴族院議員を務めた山川健次郎の兄浩が関わったという話。もう一つは、乃木希典が間に入ったという話。

山川健次郎(1854~1931)は、秋月悌次郎や前原一誠前原の副官奥平謙輔の支援で海外留学の機会を得、日本で初めての理学博士となり九州大学、京都大学、東京大学の総長を務めた逸材です。

更に面白いのは、山田英夫の長女千代はあの薩摩治郎八の夫人になっ

ています。薩摩治郎八(1901~76)は、ご存知の通り、日本橋の木綿王の家に生まれ、英国留学の後、パリに移り、社交界に名を轟かせ、パロンの薩摩と呼ばれ持てはやされました。藤田嗣治ら芸術家を支援し、パリの日本館を自費で建設・提供するなど功績があります。が、桁違いの消費家で、在仏10年間に当時の金額で数百億円を使い切ったとい

友人もまた薩摩に従ったといま

京都守護職と長州藩士の孫娘が、パリの社交界を夫と仲良く楽しんでいた様を想像するのも愉快なことです。

これらを直系だけでなく一族に広げると収拾がつかないほど重層的に結びついています。医学者で政治家の山根正次家と採鉱冶金学の先覚者都野豊之進家、砲術家で芸術家の小野為八家等々。

こうして表面的な系譜を辿るだけでなく、長州の人々の深いつながりが見えてきます。

幕末維新の激動の時代、藩士も中間も生死をかけて変革のために戦い、維新後は、制度の創出と安定のため鋭意働き、その結果得た果実と名誉と家門の正統性を守りたいと考えるのは理解できます。正当に評価してくれ、安心して伝えていけるのは、やはり、同じ長州という空気の中で育ち、共通の知友が見守る郷土人脈だったのでしよう。

(高木正照 エッセイスト 日本ペンクラブ会員)

参考——『秋藩諸家系譜』岡部忠夫(琵琶書房)、『日本の上流社会と閥閥』早川隆(角川書店)、『華族家系大成』霞会館(吉川弘文館)、『幕末維新人名辞典』奈良本辰也(学芸書林)

阿武町

巖流島の決闘から400年 福賀の墓で佐々木小次郎供養祭

阿武町福賀地区野沢にあり、佐々木小次郎のもの

と伝えられている墓で4月13日、佐々木小次郎供養祭が行われました。

巖流島の決闘で小次郎が宮本武蔵に敗れたとされる1612年(慶長17年)4月13日から

400年の節目。自称佐々木小次郎の末裔で、墓地の保存を行

っている佐々木小次郎墓古の会副会長の佐々木富士夫さん

(福田下)は、「全国唯一の遺産であり、歴史ある墓が地元にある

ということを誇りに思っている。これからもずっと守って

きたい」と話されました。

小次郎墓の麓に広がる農地を管理する農事組合法人福の

里では、400周年を機に、176万の事業費で、墓地までの登山道の整備と擬木の階段や

◆佐々木小次郎の墓

阿武町大字福田下、小字を小沢津といい、その山あいに慶長年間あるいはそれ以前から真言宗・正法寺という古寺がありました。

巖流島の決闘で敗れた佐々木小次郎の妻ユキはキリシタンの信者でした。当時懐妊中のユキは、小次郎の遺髪を抱き、折柄、厳しいキリスト教の禁令により山陰の地に安全な居場所を求め、この地の正法寺に身を寄せ、尼になります。そして、小次郎の冥福を祈り菩提を弔うため墓を建て、そのすぐ下のお堂で一生を終えたとい

います。我が子に対する因果応報の絆を断ち切るために、小次郎の名を「古志らう」と変えて墓に記したとの言い伝えがあり、ここには小次郎の墓と並んで佐々木姓の墓が多くあります。

■問い合わせ 阿武町役場福賀支所(083388・50221)



巖かに行われた供養祭



墓の裏面には「佐々木古志らう」の文字

人生最後は故郷に尽くす

ズームアップ

地方独立行政法人

山口県産業技術センター
プロジェクトマネージャー

くらしげ
みつひろ
倉重 光宏 さん

(萩市出身、宇部市在住、
萩高校昭和36年卒13期、69歳)



世界初のPDPカラオケ
(1995年5月)
“歌手”は筆者



地域発イノベーションで 山口県を元気にする

日本を代表するテレビメーカー3社(パナソニック、ソニー、シャープ)の社長が今春こぞつて交代しました。大赤字の責任をとつてのことと報じられています。元はと言えば経済やモノづくりの国境がなくなるなど、環境が一変したことによりです。

しかし、日本は特許の取得では世界一をキープするなど今なお技術は世界トップの座にあります。何故かビジネスで負けるという流れが目立つようになっていきました。技術で勝つて勝負で負ける、という悪い流れです。

私は、かつて(NHK在職時代)世界の仲間を束ね、ブラウン管テレビを大画面薄型テレビに変える開発を成功させ、その後企業に移りビジネスに繋がりました。その結果、家庭でも大迫力のハイビジョン番組が手頃に楽しめるという、いわゆるイノベーションの成功体験を持っています。

これが縁で山口県に招聘され、産学官(産業界と大学と公的機関)を束ねて、大学等の技術の種から新事業を創り出していく地域発イノベーションを推進する役を務めることになりました。具体的には「やまぐちグリーン部材クラス

ター」と名付けたプロジェクトで、発光ダイオード(LED)、太陽電池、ナノ(1000分の1ミクロン)粒子応用部材などに関連した省エネ省資源部材に関するイノベーションに取り組んでいます。幸い、一部ながら、雇用創出等地域に新たな経済効果を生み出せる成果が見え始めてきました。

萩の思い出

萩の実家は、勉強部屋から松山村塾が丸見えのところであり、今も兄夫婦が守っています。幼少の時代、吉田松陰を祭った松陰神社は格好の遊び場であり、塾生名士の写真が飾られた松下村塾塾生控え室も例外ではありませんでした。宮司からよく怒られたものです。近くには、伊藤博文の旧宅、吉田松陰の誕生地など、松下村塾ゆかりの観光名所が集まっています。

大卒後、NHKに就職してから40数年間(1965〜2009)ずっと東京暮らし、「萩」の出身と言うと「あ、維新のふるさとですね」といつもうらやましながら聞いていました。

高校時代の思い出は、なんと言っても市民にも親しまれていた運動会の仮装大会。私の属した「中隊」は「ああ大阪城」と題して大阪城落城を演じ、三橋三智也の「あ

あ大阪城」をBGMに張り子の城に火をかけ、観客の涙を誘ったこと。2009年、山口県から、人生最後は故郷のためにと扇動され、その気になって東京生まれ、東京育ちの妻を連れて宇部市に引っ越しました。人生最後の、あとひと頑張り、中です。

プロフィール

1942(昭和17)年生まれ。樺東小学校、福賀中学校、萩高を経て、九州大学卒業、工学博士。

1965(昭和40)〜99(平成11)年NHK、この間に放送技術研究所でハイビジョンの研究に従事。物性素子研究部長、イメージデバイス研究部長を経て、94年(助)NHKエンジニアリングサービスに出向、ハイビジョン用PDP開発協議会事務局長。2000〜07年、松下電器産業(株)顧問、09年4月より現職。

現在、高知工科大学客員教授、大阪電気通信大学客員教授を兼務。主な著書「衝撃! プラズマテレビは社会を変えろ」(実業之日本)、「アフターマーケット戦略」(白桃書房)。

陶工
金属造形家
WEBデザイナー
(SEOデザイナー)

よしか
吉賀

あきら
暁さん
(38歳)



と帰郷してきます。

WEB制作

14年ぶりに地元での生活を始める、景気の悪さに驚かさされ愕然としました。観光客は目に見えて少なくなっていましたし、もちろん観光客の数に直結する萩焼の売り上げも年々下降していました。このままではマズイ、自分の力で何かできることはないかと考え、制作したのが泉流山のホームページ(以下HP)です。

しかし、作ってみたものの、売り上げに大して変化は見られませんでした。何故そうなのかと考え模索していくうちに、一つの事に気付きませす。「萩にある各事業所のHPは、ユーザーが欲しい情報を入手しやすい体系的なWEBが構築されていない」という事です。何もない土地に店を一つ構えたからといって、そこにつながる道がなければ、お客が来店することも無いのですし、道があつたとしても1店舗しかない土地に観光客が多く足を運ぶことはない。そこにはアクセスしやすい環境も必要です。観光客を満足させる多くの要素が必要だという事です。

それは、ネットの世界でも同じで、「萩」の注目度を上げるには、萩に関するサイトが体系的に存在しなければならぬのです。そうして、泉流山のHPだけでなく、

市内業者のHPもデザインにかかわるだけでなく、注目度が上がるようなHPにしていきたいと考え、萩焼作家としての活動を一時休止して、WEB制作に力を注ぎ始めました。

つながっている

現在、観光をする人の多くが出発前や計画段階でネットを使って調べるようになりました。それにすべて対応できているわけではありませんが、ここ数年で、市内企業、町づくり団体、施設等のHPを幾つか制作させていただき、徐々に体系的なWEB制作ができる

つつあります。また、WEBの世界においては、来萩されない潜在的なお客も存在します。かといって、WEBショップを開設したからといって、そのお客が興味を持ち購入するのかと言えば、やはりそうではなく、それなりのサービスを提供しなくてはなりません。そうなるWEBデザイナーだけでなくコンサルティングまで含めた仕事が必要だと言えます。

町のためにと始めたことなの



《萩LOVE》地域密着型のポータルサイト



《萩ツインシネマ》山陰地方西部で唯一の映画館

文政9年(1826年)からの

歴史を誇る萩焼窯元・泉流山の長子長男として生まれ、金属造形家の道を歩みながら、窯元の陶工として勤め、はたまた萩の活性化のため、市内企業や団体のウェブサイトなど、幅広く地域のホームページ制作をしている吉賀暁さんにお話を聞きました。

ド長男

歴史の古い窯元の本家長男として生まれ、ましてや祖父は偉大な吉賀大肩(たいいび)。従兄妹の中でも最年長でしたので長男中のド長男。物心つくころには、周囲から期待を受ける、受けないにかかわらず、多かれ少なかれ家を継がなければならないと感じてはいました。将来

の事を真剣に考えるようになったのは高校3年時に祖父が亡くなったからで、芸術家の家系に生まれてからは私も芸術家を目指そうと、2年ほど浪人し、祖父と父の母校である東京藝術大学に進学しました。

美術学部工芸科(たんきん)鍛金専攻で4年、卒業後大学院で2年、研究生で1年と計7年大学に籍を置き、社会に出たのは27歳の頃。その後、直ぐ帰郷しても良かったのですが、どんな形にも自由自在に造形できる、陶芸と違った金属造形の魅力に惹きつけられ、そのまま、専門学校(こうがく)の講師のバイトや金属造形仕事のかたわらに創作活動をし、知人とグループ展などを開く生活を5年ほど送り、32歳になつてやつ

萩高平成4年卒。

■制作されたHP 萩ふるさとツーリズム、萩LOVE、まるつと萩なび、萩ツインシネマ、萩つばき市場、タケクリエイト萩、萩ガラス工房：etc。

で、労働生産性はとても悪くキツくもありませんが、萩のサイトをWEB上で体系的につなげていこうとすれば、リアルな部分でもつながりが広がり、それがとても励みになります。かといって、生涯WEB制作をし続けるわけではなく、いずれはディレクティブな立場からプロデューサーしていく立場へと移行し、萩焼窯元の跡継ぎとして、萩焼に専念していこうと思います。そして、萩焼も上手くいくようになれば、いつかは金属造形の作家活動を再開したいなと…。

農業組合法人 長沢台生産組合

長沢台で生まれ、長沢台で育った ちようしゅう 黒毛和牛ブランド「長萩和牛」



昨年、見島牛、見蘭牛に次ぐ萩市内3番目のブランド牛として市場で大きな評価を得はじめた「長萩和牛」。その生産者である萩市福栄紫福長沢台の農業組合法人・長沢台生産組合を訪問して、代表理事の水津元廣さん（60歳）にお話を聞きました。

● 国の事業から ●

昭和45年に高校を卒業し、実家で就農しました。当時、この地の農家はまだ、普通に牛を飼育しているところが多く、私の家もまた牛を15頭ほど飼う普通の農家の一つでした。肉用牛生産を本格的に始めたのは、昭和53年、国の農村基盤総合整備、パイロット事業により、粗飼料生産基盤に立脚した肉用牛生産団地をこの長沢台に整備することが決まってからです。大規模な事業であり、個人ではできないということ、まずは地元農家5戸9人で任意組合を設立。管理舎、畜舎、たい肥舎、飼料生産調製機械等を整備し、100頭ほどの無角和牛からスタートしました。当時山口県で主に飼育されていたのは無角和牛で、地産の牛といえは無角和牛が当たり前の時代でした。

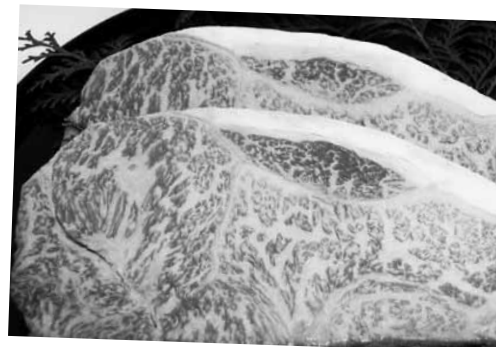
それから5年、昭和59年に事業拡大のための農地取得に伴い、任意組合から農業組合法人へ移行し

ました。しかし、肉用牛というものは、品種で等級がほとんど決まってしまうもので、無角和牛を必死に頑張つて育てたところで価格が上がるわけでもなく、それならと、平成元年あたりから、鹿児島から毎年10頭ほど黒毛和牛の子牛を仕入れ、無角和牛から黒毛和牛の一貫飼養へシフトしていきま

● A4ランク ●

黒毛和牛に完全移行し、少ない構成員で、良い肉、すなわち美味しい肉が経営を支える一番の要素とみて、牛の体調に合わせながら肉が良くなる飼養管理を徹底しました。そうして脂肪交雑や肉の光沢、肉のしまり、きめなども向上し、徐々に市場での評価も高くなり、良い価格が付くようになりま

した。そうして平成13年には、山口県和牛共進会肉牛部門で農林水産大臣賞受賞という価格ではない形で評価され注目度も上がり経営も安定してきました。ちょうどその年にBSE（牛海綿状脳症）の問題が国中を怯えさせていたときでしたので、とても良く覚えています。和牛の特色として霜降りが入ったおいしい味のある肉が好まれ、その最上位をA5ランクとされていますが、多くの消費者が求める価格帯や、コストパフォーマンス



を考えるとA4クラスが良いのではないかと、当組合では、このあたりを重点的に生産できるようにかけています。

● 長萩和牛 ●

上質な肉を生産しているのに出荷先はほとんど大阪で、あまり知られていないことを市民の方が案じてくださり、ありがたいことに、昨年より阿西商工会と(有)萩ミート



販売さんのもと、長沢台の黒毛和牛を「長萩和牛」としてブランドイングされ始めました。おかげさまでメディアに取り上げられる事も増え、注目度もあがり、山陽の飲食チェーン店にも「長萩和牛」として売り出され、市内飲食店でも取り扱ってくださるお店も増えてきました。

とはいえ、こんなご時世ですので、ブランド力が付いたからといって、どんどん事業拡大することとは今のところ考えておりません。今のところ考えているのは、たい肥の製造販売をもう少し拡大して、地元農家の皆さんのお役に立てるよう耕畜連携が取ればと考えています。それと、今年は5年に1度行われる全国和牛能力共進会が長崎で行われますので、ぜひ山口県代表に選ばれたいと思います。

■ 農業組合法人 長沢台生産組合

住所：萩市大字紫福2868-10

☎0838・53・0441

事業内容：肉用牛繁殖肥育一貫生産、野菜生産、たい肥の製造販売、オペレーター派遣
黒毛和牛：常時約440頭（繁殖牛150頭、肥育牛200頭、子牛90頭）年間出荷頭数120頭

長萩和牛のお求めは：萩ミート販売（0838・55・0298）

懐かしい店

ごみどりの五味鳥



名物のとりかわと玉ねぎはぜひ一度食べてほしい絶品。
玉ねぎは焼けるまで40分、むしように食べたくなる味

萩で30年以上愛される老舗やきとり店 人情味あふれる大将も魅力的!

ができるのではないかと、タイヤ屋からJUKI株式会社に転職します。それから、徳山、広島、高松、徳島、府中、松山、今治と、転勤を繰り返しているうちに、いつしか支店長までなりました。

ちょうど今治にいた頃、仲間に飯屋をやりたいのだがと相談したところ、飯屋は難しいから焼き鳥屋が良いのではないかと、今治市にある本家本元の五味鳥のおやっさんを紹介してもらいます。そうして、まず最初に家内が1年間ほど、おやっさんの下で働き、私も数か月後会社を辞め、3か月間おやっさんの下で修業させてもらいました。お気づきかと思いますが、鉄板を使った独自の焼き方、注ぎ足しの秘伝のタレ、人気の玉ねぎ焼きやトリカワもすべて本家五味鳥から引き継いだものです。

そうして、五味鳥ののれんを分けてもらい出店まであと一步のところまでたどりつきました。しかし、出店資金には退職金だけでは足らず、どうしても良いものかとJUKI時代の先輩に相談したところ、先輩が「200万出してやる」と、担保も無しに出資してくれました。人間、信用が何よりも大切なのだと改めて感じた瞬間で

した。先輩との信頼関係がなければこの店はなかったと思います。

当初、出店は広島でもと考えましたが、やはり故郷であるこの萩で出すことを決めます。それから現在まで34年間、この場所で営んできましたが、どう転ぶかわからないこの世界でやってこれたのは、やはり先輩から出資してもらったとき改めて感じさせてもらった「信用」を失わないようにという気持ちがあったからこそだと思います。ごまかさず良いものを使っています。ごまかさず良いものを使っています。ごまかさず良いものを使っています。素材も新鮮なものだけを使ってやってきました。おかげさまで多くの皆さんに可愛がってもらい、ひいきにしてもらい、今日までやってこれました。数十年前、親と一緒に来てくれた子が大人となって来店してくれた時はとても嬉しいものです。また、昨年の国体開催期間には栃木の選手団の方が

来られ、1か月後くらいに栃木からの観光客の方がインターネットで知って食べにいられたのを知り、直接関係あるかないかはわかりませんが、とても嬉しかったです。

長くやっている、いろいろな思い出があるもので、懐かしく思うのは、まだ商業高校があった頃の、当時の野球部の顧問、監督の先生と「場外ホームランで五味鳥の店に当たたら焼き鳥100本」という約束をし、何本か店に打球が飛んできました。その時にできた傷はまだ残っています。お隣近辺からしたら大迷惑だったでしょうが…。そうして34年やってきた店も、今のところ跡継ぎはおらず、このままいけば私の代で終わるでしょう。先のことはわかりませんが、お客さんに可愛がってもらえれば、今まで通りのことをやれるところまでやっていきたいと思っています。



■五味鳥

住所 萩市江向3区の1
☎0838・25・4748
営業時間 午後5時～午前0時
定休日 毎週日曜日

旧萩商業高等学校横にて、昭和53年5月よりお店を構えられ、鉄板を使った独自の焼き方と秘伝のタレが、商業卒業生はもちろんのこと、多くの市民から愛され、はたまた角界の著名人までもひいきにされる焼き鳥屋・五味鳥を訪問し、大将の伊藤展裕(のぶひろ)さん(73歳)にお話を聞きました。

昭和53年、39歳のとき。裕福ではない家庭に生まれ育ち、中学を卒業してからは、タイヤ屋さんで働かせてもらいながら旧萩商工定時制に通い、卒業後もそのままタイヤ屋に就職しました。しかし、学生時代からの「飯屋をやりたい」という夢を諦めることはできず、どうしたら出店できるかを考えたとき、大きい会社に入り、退職金を貰えるまで働けば店を持つこと

仕事に精を出す岡村さん



しげさく
岡村 茂作 さん

**萩の名菓
「蒸気まんじゅう」を
焼き続けて60年!!**

庶民の味「蒸気まんじゅう」を昭和30年頃から約60年間作り続けてこられた岡村茂作さん（熊谷町）が、昨年9月27日、90歳で亡くなられました。

岡村さんは、終戦後に地元萩に帰られ、まんじゅうを焼くことを商売として始めました。創業当時は、物不足で材料の入手が大変苦労しながらも、まんじゅう屋さんを足運び、学びました。試行錯誤を繰り返して、誰にもおいしいと言ってもらえるような蒸気まんじゅうを作ろうと励みました。

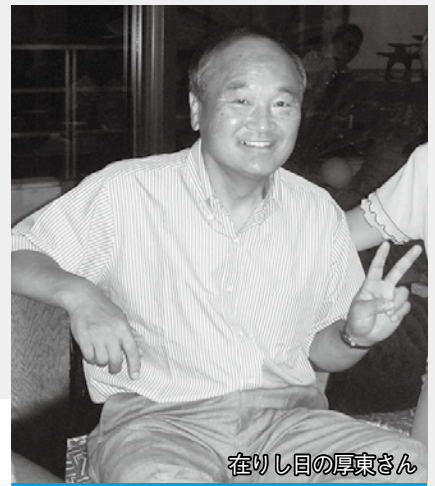
約20年前からテレビ取材も増え、祭りで出店すれば、作っても作っても行列が切れず、平日でも必ず売り切れになるほどでした。蒸気まんじゅうとして成功を感じるようになったと話

され、「市民や観光客など多くの方に愛される蒸気まんじゅう」でした。

以前から、「体が動く限り頑張りたい。何とか萩発祥の伝統の味をつなげたい」と言われたとおり、昨年夏に自宅で倒れるまで蒸気まんじゅうを焼き続けました。

今年2月、萩市を訪れた観光客に対してまごころのこもったおもてなしを実践している個人や団体を表彰する「萩おもてなし大賞」で、萩名物の蒸気まんじゅうの味を60年余りにわたり提供し、多くのファンを築いたことにより「おもてなし特別賞」を受賞しました。

4月8日には、「岡村さんを偲ぶ集い」が素水園（堀内）で催され、岡村さんが守り続けた蒸気まんじゅうの伝統を引き継



褒められし厚東さん

みつる
厚東 満 さん

**萩しーまーと等に
「カワツサクラ」
250本を寄贈!!**

早咲きのカワツザクラを寄贈された厚東満さん（越ヶ浜）が、今年1月26日、65歳で急逝されました。

厚東さんは、萩市越ヶ浜出身で昭和40年から静岡県職員として平成19年まで奉職しました。下田土木事務所在職時から、姉妹都市である萩市と下田市との民間交流に努め、平成15年からふるさと萩への恩返しとして、伊豆河津町の早咲きの桜であるカワツザクラの寄付を始められ、しーまーと親水公園ほか笠山など各所に250本を寄付されました。

今では、道の駅・萩しーまーを訪れる市民や観光客の目を楽しませてくれる早春の風物詩となっています。地元では厚東さんの名前を引用し、「コトウザクラ」とも呼ばれています。

厚東さんの顕彰プレート除幕式が、3月10日、令夫人や萩市長をはじめ地元自治会などの出席のもと行われました。

信子夫人によると生前の厚東さんは、「萩が好き、好き、好き」と言い続けていました。この桜でお花見をして、多くの皆さんに楽しんでもらえたら、主人が喜んでくれると思います」と話され、厚東さんの郷土を思う気持ちには人一倍強く、お祝いや饞別には「萩焼」を、贈り物には「かまぼこ」を自信をもって贈り続けてこられたそうです。

また、下田在住時に、元気がなくなっていた時には下田市弁天島（神崎公園内）の吉田松陰像（踏海の朝像）に会いに行き「萩のために頑張れよ」と元気をもらったそうです。



庶民の味 蒸気まんじゅう



家族で賑わう満開の親水公園
萩しーまー

本心に、郷土を愛し心の支えとされてこられたのだと思います。

松本実さん、佐々部清監督とトークショー

萩市吉田町出身の俳優、松本実さん（38歳、萩高校平成4年卒）と下関市出身の佐々部清監督のトークショーが3月4日、萩ツインシネマで開催されました。



松本実さん

佐々部監督

昨年12月に公開された「ワイルドセブン」では、赤髪ウルフヘアのBBQ役で、強烈なインパクトをあたえた松本さん。吉田町のレストラン「シズキ」のオーナー、松本充・和子夫妻の長男で、萩高校卒業後、桐朋学園短期大学芸術科演劇専攻に進学。蜷川幸雄の劇団に入団、独立後は、北村龍平監督の映画「あずみ」で脚光を浴び、NHK大河ドラマ「天地人」のほか、TBS系列で放送されたドラマ「JIN」や、「水戸黄門」等にも出演しています。また、佐々部監督は、映画「半落ち」や「ツレがうつになりまして。」を手掛けています。

トークショーでは、映画「ワイルドセブン」のクラシックインが実は東北大地震の翌日だったことを明かし、スタッフが集まったものの震災のことが気になり、映画をつくるのが、正しいことだろうか、モチベーションをあげるのが大変だったと話しました。しかし、公開後は、映画を見ている間だけでもつらいことを忘れ、楽しくいられることに気づき、エンターテインメントの大切さを感じた。少しでもこの映画で元気を分けられればと話しました。

3月1日に38歳となった松本さんに佐々部監督から、中年を迎える前にやっておいた方がいいこととして、「夢を見続けること、新聞をよく読むこと」などの教訓が言い渡される場面もありました。

佐々部監督は「萩の土地や人とのつながりは、映画にももらった縁。いつか映画で恩返ししたい」。松本さんは、「萩は両親が居る場所。自分は長男でありながら、東京で好きなことをやっているが、両親は老体をひきづりながら働いている。自分の夢を応援してくれる両親を役者の仕事でどうにか喜ばせたい」と思いを述べ、「テレビや映画で皆さんに見ていただけるように、作品を創っていきます」と意気込みを語りました。

歴史作家 星亮一さん講演会

福島県郡山市在住の歴史作家、星亮一さんの講演会「東北は負けない～会津藩に学ぶ復興の半世紀～」が、3月15日に萩市民館で開催されました。



萩図書館の会津書籍コーナーにて
左から陽信孝（NPO 萩みんなの図書館理事長）、星亮一、高木正熙（萩図書館長）

震災後の復興・復旧は「子どもの教育」にあり

星さんは、平成10年に萩市で開催された明治維新130年シンポジウムにパネラーとして参加するなど、萩市と大変かかわりの深い作家で、講演会は、東日本大震災の東北支援のお礼かねて開催されました。

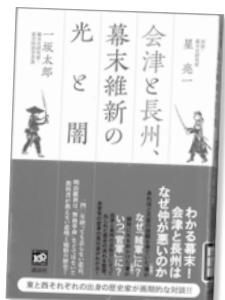
星さん自ら4か月間にわたり福島県、宮城県、岩手県の被災地を巡り、震災から1年過ぎた被災地の状況について、「人々の表情には明るさが出たが、希望が見えない状況で、老人は住んでいた家に戻りたいが、若者は戻りたくても関東などに職を求めて出て行っている」と話さ

れました。

今後の復興への道のりについて、東北地方の歴史を紐解きながら、復興への道筋を次のように話されました。

「今から140年前の戊辰戦争では、会津は今と同じ状況にあった。下北半島に1万数千人が移住し、若者がいなくなった。会津を復興するために、優秀な生徒・子どもを全国に預けた。その中に、萩の奥平謙輔に預けられ、後に東大総長となった山川健次郎もいた。会津藩の復興も60年かかった。つまり、今の福島の復興も次の次の孫の世代にある。キーワードは『復旧復興は子どもの教育』にある」

萩と会津の関係については、「大震災を機に、今は長州・会津と言っている場合ではない。野球の阪神・巨人がそうであるように、日本の中にライバル関係があるのは良いことだ。日本の近代化は長州・会津・薩摩で成り立った。大変なライバル関係があつて、お互いに負けたくないという熱い思いがあり、歴史の両雄であった」。



著者：星亮一・一坂太郎
価格：1470円
発行：講談社（2009年）



会員投稿

4月17日 萩本陣(萩市)

萩高14期 卒業50周年記念同期会



昭和37年卒業後、50周年を記念する同期会が、恩師山根勝先生をお招きして61名の参加で開催された。

開会の前に陶芸の村公園(椿東権原)で、還暦記念に植えたシダレ桜をバックに記念撮影と施肥。ここで、新谷和彦君(山口県議会副議長)から、「故郷(ふるさと)」歌詞3番(♪志を果たしていつの日にか帰らん 山はあおき故郷 水はきよき故郷)の歌碑建立の計画が披露された。

会は冒頭43名の物故者に黙祷を捧げ、続いて特別参加の野村興児萩市長(萩高15期)から萩の産業・文化振興への協力要請とUターン要望の熱烈なアピールがあり、小川義春三七和会(首都圏同期会)幹事の音頭で乾杯。後は、いつもどおりの和やかなひと時を過ごした。閉幕は校歌と「故郷」の斉唱。市外在住者に「帰萩」実行の強烈なインパクトを与える同期会となった。次回は来年、古稀記念と「故郷」歌碑除幕のため開催される予定。

一采 毅(茨城県守谷市在住)

同窓会だより

「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。 hagi-network@city.hagi.lg.jp

4月15日

大阪指月会

大阪弥生会館(大阪市北区)



49人が出席、会長が村木一夫さん(萩高7期)から伊藤孝さん(16期)に交替。「毎回同じ顔ぶれなので、若い人をどう増やしていくかが課題」、村田昌志会長からは「今62、3歳の人の1学年は550人もいたが、少子化により現在は155人」と挨拶がありました。中垣謙司校長からは、「全校で482人、今年の卒業生のうち国公立大の入学者は73人で、県内5番目」と報告があり、会場では萩「たつち」のちりめんや金太郎一夜干し、わかめなど地元特産品の販売が盛況でした。

■萩市・阿武町内 高校卒業者の進路状況

市内63人/449人=14.0%
(昨年は59人/479人=12.3%)

学校名	卒業 者数	大学		就職		専修学校ほか	
		全体	内萩市	全体	内萩市	全体	内萩市
萩高校	172人	132人	1人	8人	1人	32人	8人
萩商工高校	184人	19人	0人	120人	25人	45人	2人
萩光塩学院高校	46人	19人	1人	5人	3人	22人	5人
奈古高校	47人	7人	0人	33人	17人	7人	0人
合計	449人	177人	2人	166人	46人	106人	15人

学 校 だ よ り

今春の高校卒業生
約9割が萩を離れる

今年3月に卒業した萩市と阿武町の高校の卒業生は449人でした。うち市内へ残ったのは、就職46人、山口福祉文化大学2人、県立萩看護学校2人など合計63人で、卒業生の14%に当たります。9割弱の若者が、市外・県外へ、進学・就職しています。

今年3月に卒業した萩商工高校3年生は184人で、進路先は、最も多かったのが中国地方の127人で、うち山口県内に88人、萩市内への就職・進学は27人でした。

地方	進学	就職	計
北海道・東北	0人	0人	0人
北陸	0人	0人	0人
関東	1人	4人	5人
東海	0人	2人	2人
関西	3人	18人	21人
中国(山口県内)	33人(21人)	94人(67人)	127人(88人)
四国	0人	1人	1人
九州・沖縄	27人	1人	28人
合計	64人	120人	184人

萩商工生の進路先

今年3月に卒業した萩高校3年生は172人で、進路先は最も多かったのが、中国地方の95人で、うち山口県内に64人、萩市内への就職・進学が10人でした。

地方	人数
北海道・東北	1人
北陸	0人
関東	13人
東海	1人
関西	28人
中国(山口県内)	95人(64人)
四国	1人
九州・沖縄	33人
合計	172人

萩高生の進路先

シリーズ3 萩を歌いませんか

萩の歌をシリーズで紹介しています。萩の歌を皆さんの歌声で広げてください。



親を想う松陰先生の心を歌う
「萩の母」
原たかし

歌：原たかし、作詞：田村和男、作曲：岸本健介（昭和61年）

鹿野町（現周南市）出身の原たかしさんが、母親を想う松陰の心を歌った曲。2番では、松陰の辞世の句「親思う心にまさる親心 今日のおとずれ何と聞くらむ」の歌詞が続きます。親を想いながら最後の時を過ごす松陰の姿が目につかび、松陰ファンは、ぐっと熱くなってしまいます。

「萩の母」

風の便りも 断えだえの
江戸は夜寒の 伝馬町
偲ぶふるさと 椿の蔭に
佇む細い うしろ影
吉田松陰
母に一筆 湿す夜

毎週日曜日放送の世界一流アートを紹介する美術番組「日曜美術館」に、萩市出身の藤田伝三郎が「破格のコレクター大阪にあり」として取り上げられました。



破格のコレクター大阪にあり
探訪！藤田美術館の至宝

NHK Eテレ「日曜美術館」(4月15日放送)

大阪府都島区の藤田伝三郎旧邸（太閤園）近くにある「藤田美術館」は、美術コレクターとして伝三郎が収集した美術品を含む国宝9件・重要文化財51件を所蔵する国内トップクラスの東洋美術館コレクションを誇ります。

幕末の萩に生まれ、高杉晋作、木戸孝允らと親しく交わり、29歳で大阪に出た伝三郎は、大阪で初となる鉄橋の建設や、現在の南海電鉄のもととなる鉄道会社を設立するなど、沈滞していた関西の産業を飛躍的に発展させました。一代で大富豪へと上りつめた関西政財界の風雲児でした。

実業家としては、西洋の技法など新しいものを積極的に取り入れる一方で、私生活では、日本の文化や伝統をこよなく愛していたとされ、コレクションから、千利休が使用していた茶碗や、尾形光琳

NHKEテレ「日曜美術館」
破格のコレクター藤田伝三郎

作の硯箱、鎌倉時代の宮廷絵巻、快慶作の仏像などの至宝が紹介されました。伝三郎のコレクションの総数は1万点にも及ぶと言われています。

今年、藤田伝三郎の没後100年にあたり、萩博物館では、11月3日から12月9日まで「藤田美術館の名宝」と題し、全国で初めて藤田美術館のコレクションを展示します。

藤田美術館（06・6351・0582）では、6月17日まで「藤田伝三郎の軌跡」、9月8日から12月9日までは、「藤田伝三郎の想い」を開催します。



茶道具「交趾大亀香合」
現在の価格は9億円！



新しい商工会議所(山口銀行萩支店横、345㎡)

萩商工会議所が
東田町に移転

萩商工会議所（会頭 刀禰勇）の新しい会館が東田町に完成し、3月1日から新会館で業務がスタートしています。

新会館は、旧飲食店（ピアシテイ萩）を改修したもので、1階部分は駐車場（最大21台）で、2階は60人が収容できる会議室や相談コーナーも設置し、ワンフロアですべての機能が集約された事務所スペースとなっています。



萩観光パフォーマー 維新の志士に扮した観光案内が好評

萩の昨年の観光客数
約142万人(前年比6%減)

萩市観光協会によると、萩地域の平成23年の観光客数は141万7992人（前年比6.2%減）、宿泊客数は46万7222人（前年比3.6%減）でした。

昨年は、東日本大震災の影響により観光ツアーの中止や宿泊キャンセルが相次ぎましたが、文化財を生かした町づくりや温泉効果（萩温泉郷）の浸透、「小郡・萩道路」「山陰道」の開通などの道路整備の充実や、「山口国体・山口大会」など大規模なイベントの開催などにより、減少幅を最小限に抑えることができました。

情報アラカルト

フランス

■国際現代陶芸展「アートセラム」
三輪華子の作品が展示されます。
5月10日(木)～30日(水)
フランス セーブル市 文化セン
ターSEL

中国

■山口県・山東省友好協定30周年
「萩焼―山口県の陶芸」展
江戸期の萩焼の茶陶や細工物から現代の大型オブジェなど、萩焼400年の歴史と芸術性を紹介。
5月27日(日)まで
中華人民共和国山東省済南市
山東博物館
(問) 山口県立萩美術館・浦上記念館(0838・24・2400)

関東地区

■第2回「萩っ子パーティー」
「東京で萩弁を喋ろう」をテーマに、萩出身者の交流はもちろん、萩に興味のある方も含めて楽しむ会。
6月9日(土)午後5時～
東京都渋谷区神宮前5・53・67
コスモス青山ガーデンフロア
アンカフェ (un cafe)
萩大志館・吉村、申込はweb受付
<http://goo.gl/KeCxy>

■ふるさと萩・小川会

田田万川町小川出身者の関東地区同郷会。第20回記念の定例懇親会。
6月17日(日) 正午～午後3時
東京都荒川区東日暮里5・50・5
ホテルラングウッド
(090・9673・2296) 佐伯

■テーブルコーディネート展「薔薇の館・ピンクワークの装い」
萩ガラスを用いた谷内田順子(むつみ出身)のテーブルコーディネート展。
5月7日(月)まで
神奈川県横浜市中区山手町111
山手西洋館「111番館」
(045・623・2957)

■夏の逸品「萩ガラス」展
5月15日(火)まで
東京都中央区日本橋室町1・4・1
日本橋三越本店 5階和食器売場
(03・3241・3311)

■NIPPON DESIGN TRAVEL
47都道府県のデザイン旅行
全国の工芸品が展示され、山口県のコーナーに萩ガラス製品が展示されます。
5月28日(月)まで
東京都渋谷区渋谷2・21・1渋谷ヒカリエ8階 47MUSEUM
(03・6427・2301)

■サントリー美術館・東京ミッドタウン5周年記念「毛利家の至宝」

雪舟の最高傑作、国宝「山水長巻」の特別公開。
5月27日(日)まで
東京都港区赤坂9・7・4
六本木・東京ミッドタウン ガレリア3階 サントリー美術館
(03・3479・8600)

■納富晋 作陶展
5月9日(水)～15日(火)
東京都千代田区丸の内1・6・4
丸善丸の内本店
(03・5288・8881)

■グローバル・グリーン・キャンペーン
TAKE Create Hagi
Iの竹製品が展示・販売されます。
5月16日(水)～30日(水)
東京都中央区銀座4・6・16
銀座三越
(03・3562・1111)

■おいでませ山口館のイベント
○萩の夏みかんフェア
5月17日(木)～21日(月) 午前10時30分～午後7時
※夏みかんの入荷状況により変更する場合があります。
○おいでませ山口館 10周年記念イベント
先着100人に萩焼のプレゼント、クイズに答えて抽選で萩ガラスのプレゼント、萩のかんきつ類の販売などがあります。
5月22日(火)、23日(水) 午前11時～午後4時
東京都中央区日本橋2・3・4日

東京都中央区日本橋2・3・4日

萩三高合同総会(関東)

4年に1度、萩高、商工高、光塩学院の合同同窓会。
10月27日(土) 午後2時30分～
日本工業倶楽部

萩同郷会(関西)

4年に1度、関西在住の萩出身者の同郷会。
11月4日(日) 午後2時～
大阪弥生会館

日本伝統工芸陶芸部会展

本橋プラザビル1階 おいでませ山口館(03・3722・3510)
■岡田裕等の作品が展示されます。
5月23日(水)～28日(月)
※5月27日(日) 午後0時30分～
岡田裕「特別講座」
東京都中央区日本橋室町1・4・1
日本橋三越本店
(03・3241・3311)

紀ノ国屋「萩・津和野フェア」

水揚げされたその日に届く新鮮な魚介類や蒲鉾などの水産加工品の他、夏みかんの商品などが販売されます。
5月16日(水)～22日(火)
紀ノ国屋7店舗(インターナショナル店、渋谷店、等々力店、吉祥寺店、国立店、鎌倉店、ラスカ平塚店)
■襲名記念 十三世 坂高麗左衛門展

襲名記念 十三世 坂高麗左衛門展

山口伝統工芸展 巡回展

日本工芸会山口支部主催による展覧会。野坂和左の作品が日本工芸会山口支部長賞(最高賞)、松尾藻風、波多野英生、岡田泰の作品が入賞しました。
○5月9日(水)～14日(月)
下関市竹崎町4・4・10
下関大丸7階文化ホール
(083・232・1111)

○7月17日(火)～23日(月)
広島市中区基町6・27
そごう広島 店美術画廊
(082・225・2111)

6月20日(水)～26日(火)
東京都中央区日本橋2・4・1
日本橋高島屋 6階美術画廊
(03・3211・4111)



茶碗
十三世 坂高麗左衛門作

東海地区

東海指月会

東海地区の萩高同窓会。
7月1日(日) 正午～午後2時
愛知県名古屋市中村区
名古屋マリオットアソシアホテル
51F マーキュリー

(05666・99・4069) 吉岡
■「わんの形」
金子司の作品が展示されます。
5月27日(日)まで
岐阜県多治見市本町5・9・1た
じみ創造館3F
多治見市文化工房ギャラリー・ヴォ
イス(0572・23・9901)

関西地区

■萩商工同窓会つばき会関西支部
総会
関西地区の萩商工同窓会。
6月9日(土) 正午～午後3時
大阪市北区芝田2・4・53
大阪弥生会館
(06・6389・1547) 島田

■関西山峡(やまなみ)会
旧旭村・川上村の同郷会。
6月24日(日) 午前11時～
大阪市都島区網島町9・10
大園園
(0742・41・2023) 青水

■襲名記念 十三世 坂高麗左衛門
展
5月23日(水)～29日(火)
京都市下京区四条通河原町西入真
町52
高島屋京都店 6階美術画廊
(075・221・8811)

中国地区

■萩商工同窓会つばき会広島支部
総会
6月23日(土) 午後6時30分～
広島市中区流川町8・26
ピアローゼン
(082・545・3630) 藤本

■広島指月会
広島地区の萩高同窓会。
6月30日(土) 午後6時～8時
広島市南区的場1・1・25
ホテルセンチュリー21広島
(082・287・1506) 西村

■濱中孝子個展「small planet」
ジュエリーとオパールを使った
展示。
5月19日(土)～30日(水)
島根県益田市西平原町862・4
Gallery & Cafe 草花舎
(0856・27・0592)

■岡田裕作陶展
(2月25日～4月24日 14人)

7月10日(火)～16日(月・祝)
広島市中区基町6・27
そごう広島店
(082・225・2111)

山口県関係

■萩商工同窓会つばき会山口支部
総会
山口地区の萩商工同窓会。
6月30日(土) 午後6時15分～
山口市湯田温泉4・5
ホテルかめ福
(083・932・3599) 中嶋

■西村不可止近作展
広島市在住の油絵画家、西村不
可止(萩市紫福出身)の作品展。
5月15日(火)～6月3日(日)
山口市熊野町1・10
ニューメディアプラザ山口
(083・921・1125)

■兼田佳炎作陶展
5月17日(木)～22日(火)
周南市銀座2丁目14
近鉄松下百貨店
(0834・21・5000)

■大屋繁・濱中孝子展(ジュエリー
展)
7月15日(日)～22日(日)
山口市後河原121
Cafe & Gallery ラ・セーヌ
(083・922・4009)

■萩市関係
萩商工同窓会つばき会本部総会
7月14日(土) 午後6時～

会費 3000円(福引き代含む)
萩商工高等学校体育館
(0838・22・0034) 森田

大屋繁SALE

陶器・磁器・ジュエリー20～70
%オフ。ラッキーくじ有り。
5月1日(火)～6日(日) 午前
10時～午後5時
萩市椿905
大屋繁(0838・22・7141)

阿武町関係

■富士通コンコードジャズフェス
ティバル2012
5月27日(日) 午後6時30分～
阿武町町民センター文化ホール
全席指定8500円
出演 グレイト・アメリカン・ジャ
ズ・オーケストラほか(チケット
残りわずか)
(問) 阿武町町民センター
(08388・2・2044)

新聞情報

■中国新聞連載エッセイ「東方
の記」
萩市出身の洋画家、西村不可止
さん(広島指月会会長)が、小説家
川西蘭の東北の風土を綴ったエッ
セイにイラストを連載。4月23日
から毎週月曜日に1年間(50回)

テレビ情報

■日本テレビ系列「遠くへ行きた
い」

観光地萩から更に一步踏み込み、
今の萩に暮らす人たちを通して新
たな萩の魅力を紹介。
放送日 5月6日(日) 午前7時
30分～8時
※系列局により放送時間が異なり
ます。
■KKT熊本県民テレビ「花も花
なれ人も人なれ」細川ガラシャ
の真実」
萩市出身の日本画家、内田青虹
さん(東京都在住)の作品「細川
ガラシャ」、「戦国に散る華」2点
が番組内で放送されます。
放送予定日
・熊本県民テレビ 5月26日(土)
午後1時30分～2時25分
・BS日テレ 6月2日(土) 午
後4時～5時

プレゼント

①窯元・泉流山の「萩焼湯呑」を
2名様。
②海産物直売たつちの「萩わかめ」
「青のり」を2名様。
■応募方法
ハガキに品名、住所、氏名、電話
番号、近況等を明記のうえ、萩
ネットワーク協会プレゼント係ま
で。5月末日(消印有効)。



湯呑

新規(再)加入会員

- 上野宏美さん(栃木県那須塩原市)
- 篠崎信也さん(大阪府大阪市)
- 前田千晴さん(群馬県桐生市)
- 津田正和さん(東京都世田谷区)
- 河野正章さん(徳島県三好郡)
- 青木賢次さん(萩市)
- 中島智子さん(萩市)
- 岡雅司さん(広島県広島市)
- 藤山龍馬さん(大阪府藤井寺市)
- 村田実枝子さん(大阪府三木市)
- 島本和明さん(大阪府堺市)
- 中原宏さん(大阪府三木市)
- 野坂茂美さん(広島県広島市)
- 石田光代さん(美祿市)

イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

- 5月1日(火)～5日(土・祝)9:00～17:30
◇萩焼まつり 萩市民体育館
- 5月3日(木・祝)～4日(金・祝)10:00～15:00
◇萩・大茶会 萩城跡(指月公園)
- 5月19日(土)～20日(日)10:00～16:00
◇萩・夏みかんまつり 日田中別邸(かんきつ公園)
- 5月20日(日)9:00～16:00
◇浜崎伝建おたから博物館 浜崎地区
- 6月3日(日)10:00～13:00
◇萩の和船大競漕～おしくらごう～ 橋本川下流
- 6月9日(土)17:30～
◇ホテルまつり in やまだ 山田天神橋周辺
- 7月1日(日)9:30～ 山口県漁協萩地方卸売市場
◇萩の瀬つきあじ祭り 道の駅「萩しーまーと」

「萩データベース」(2ページ)の萩観光写真素材集(イベント)から



萩の和船大競漕
～おしくらごう～

萩・大茶会

萩市ホームページ

テレビ放映のお知らせ

クリック

萩市ホームページでは、萩市内でロケが行われるなど萩市に関するテレビ放映情報を随時更新しています。トップページの左下(コンテンツ内)。

33 日本の近代を拓いた萩の産業人脈

—企業家たちの情熱と挑戦—

樋口尚樹(萩博物館副館長)

600円

明治期、関西財界のリーダーとして君臨した藤田伝三郎を源流とする、久原房之助・田村市郎・鮎川義介ら萩ゆかりの企業家たち。明治維新以降、近代化の潮流の中で、現在の日本を代表する企業の基礎を築いた。彼らの夢と情熱をかけた挑戦の軌跡を追う。



萩ものがたり

ブックレットシリーズ



申し込み 一般社団法人 萩ものがたり事務局 ☎0838・25・3233

34 吉田稔磨の生涯

—池田屋事変で散った松陰門下の逸材—

一坂太郎(萩博物館特別学芸員)

600円

高杉晋作・久坂玄瑞とともに松陰門下の三秀と称された吉田稔磨(栄太郎)は、幕府方に潜入するなど特異な活動の末、池田屋事変で24歳の生涯をとじた。明治まで生きていれば総理大臣になったであろうと言われた俊才の知られざる軌跡。

山口県立萩美術館・浦上記念館だより ☎0838・24・2400

アール・デコ 光のエレガンス

6月17日(日)まで

1920年代、フランスを中心に開花した美術様式アール・デコを、ラリック、ドーム、国立セーヴル製陶所など、アーティストが手がけたデザイン性豊かな照明器具を中心に、サロンやテーブル・セッティングの再現コーナーも交えて、約110作品を4部構成の展示。



ルネ・ラリック 常夜灯(インコ) 1920年 北澤美術館蔵

■観覧料 一般 1,000円、70歳以上、学生 800円

■休館日 月曜日

- 龍泉窯青磁展 —日本人の愛した中国陶磁— 6月23日(土)～8月26日(日)
- 清親と安治展 —光線画の時代— 9月8日(土)～10月8日(月・祝)
- 古萩 —江戸の美意識— 10月20日(土)～12月9日(日)

萩博物館だより ☎0838・25・6447

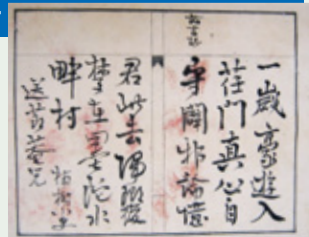
「志士」と「元勳」の書 6月24日(日)まで

—筆先のにじみで人となり—

これまで歴史史料として扱われることが多かった遺墨を、書作品として鑑賞したら、新しい側面が見えてきた。

■観覧料 大人 500円、高校・大学生 300円、小・中学生 100円

■年中無休



高杉晋作詩書

行書、草書体が全体として見事な統一感

- 最恐!危険生物アドベンチャー —海と山のアブナイ生きものたち— 7月7日(土)～9月9日(日)
- 榎取素彦と幕末・明治の群像 9月22日(土・祝)～10月21日(日)
- 藤田美術館の名宝 —大茶人 藤田伝三郎の夢— 11月3日(土・祝)～12月9日(日)
- コマーシャル100年萩 —城下町近代化のあゆみ— 12月22日(土)～平成25年4月7日(日)